

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

資料1-1

(別添1)

協議会名: 犬山市地域公共交通会議

令和6年1月 日

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
あおい交通株式会社	栗栖・富岡線	<p>コロナ禍において利用者が減少したが、減少率はコロナ禍前の事業年度との比較で約18%減にとどまっており、コロナ禍においても移動が必要な人の交通手段として機能していると考えられる。また、コロナが落ち着きつつあり、利用者数は回復傾向に転じている。 更なる利用者数の増加を目指すため、下記の対応を行い、利便性を増加させる。</p> <p>【対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わん丸君バスにおけるバス券の改善 ・わん丸君バス楽田東部線におけるルート、バス停等の見直し ・新たな交通手段を検討するため、デマンド交通実証実験の実施 ・公共交通計画を策定するにあたり、関係者間で協議を重ね、公共交通全体での課題整理や課題解決のための事業等を検討していく。 	A	利用者数による年間目標値11,660人に対して12,702人の実績であり目標は達成。【達成率:109%】	<p>【目標】</p> <p>年間利用者数(令和5年6月28日生活交通確保維持改善計画より)</p> <p>①補助金対象外路線含む計10路線:114,870人以上の維持</p> <p>②補助対象路線別目標</p> <p>栗栖・富岡線:13,310人以上 上野線:16,170人以上 今井・前原線:20,570人以上 楽田東部線:5,720人以上 善師野・塔野地線:17,270人以上 内田線:10,010人以上 (補助対象外路線)</p> <p>楽田西部線:9,460人以上 入鹿・羽黒線:20,240人以上 朝便栗栖線:1,060人以上 朝便今井線:1,060人以上 ※期間:R5.10.1~R6.9.30</p> <p>【目標に対する考察】</p> <p>コロナ禍において利用者が減少したが、移動が必要な人の交通手段として機能していた。その後、徐々に利用者数は回復傾向に転じており、高齢化や運転免許証自主返納の動きもあるため、今後ますますの需要増加が見込まれる。</p> <p>H30.10~R1.9 115,184人 R1.10~R2.9 102,547人 R2.10~R3.9 94,201人 R3.10~R4.9 102,701人 R4.10~R5.9 116,185人</p> <p>また、観光客も戻りつつあり、今後の継続運行の実施のためにも、様々な観点から更なる利用促進を図っていく必要がある。</p> <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わん丸君バス停留所のバス停名にローマ字表記を行う ・バス教室等を実施し、乗り方や行ける施設の紹介を行うことで、情報の周知を図る。 ・わん丸君バスだけではなく、タクシー車両やデマンド交通も含めて市内の公共交通について総合的に検討する。 ・関係者間で協議を重ね、公共交通計画を策定する。 	
	上野線			利用者数による年間目標値14,080人に対して17,152人の実績であり目標を達成。【達成率:122%】		
	今井・前原線			利用者数による年間目標値19,690人に対して22,778人の実績であり目標は達成。【達成率:116%】		
	楽田東部線			利用者数による年間目標値5,170人に対して5,125人の実績であり目標を未達成。【達成率:99%】		
	善師野・塔野地線			利用者数による年間目標値17,710人に対して15,889人の実績であり目標は未達成。【達成率:90%】		
	内田線			利用者数による年間目標値8,690人に対して11,950人の実績であり目標を達成。【達成率:138%】		